

# エンジニアを育成

## 情報通信設備協会 県支部



樋川支部長

情報通信設備協会県支部（樋川賢一支部長）の2025年度賀詞交歓会が1月30日に水戸京成ホテル「レストラン&me」で開かれた。支部会員、来賓など24人が参加し、新年を祝うとともに、交流を深めた。

樋川支部長は、冒頭のあいさつで「ここ数年、サイバーセキュリティとネットワークは切っても切れない状況。将来、情報インフラ全体のセキュリティを一元



NTT東日本  
松木支店長

的に考えていかなければならない。協会として会員の育成を進め、これからの情報システム、情報インフラを守っていただける団体としてのし、本年度から試行的に行っていたネットワー

の研修を、4月以降は体系化、メニュー化して取り組み考えを示し、参加者へ協力と支援を呼び掛けた。

賀詞交換に先立ち行われた講演では、NTTドコモ茨城支店の山本祐樹支店長が、ドコモグループの取り組みについて紹介。自治体や民間企業、医療、教育向けのキャッシュレス化やデータ活用など、同社が進める地域でのDX化の取

組みを説明した。

来賓のNTT東日本茨城支店の松木裕人支店長は「時代とともに通信業界



ドコモ山本支店長による講演

も変わってきているが、音声通信やテキスト通信などコンテンツなどところは変わっていない。引き続き皆

さまと連携しながら、業界を盛り上げていきたい」とした。

このほか来賓にはドコモ



新たな年に乾杯

ビジネスソリューションズ営業部茨城支店の上野竜太支店長、同社第1グループ第4チーム日高弘毅担当課長、情報通信設備協会関東地方本部から島津正行幹事、バッファロー営業技術部の深見昭生営業技術課長、同社関東支店関東第一営業所の稲葉達哉所長、高文の遠藤喬人主任、ミロク情報サービスの宇津木優さいたま支社長、同社の今裕次郎グループ長、ケアコム価値共創グループの須金泉光氏、阿部浩幸が出席。同支部幹事を務める茨城電話工業の村上広志マネージャーの発声で乾杯し、盛大に新年を祝った。